

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
102-62	高等学校	国語	現代の国語	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
2 東書	現国 701	新編現代の国語		

1.編修の基本方針

①言葉による見方・考え方を働かせ、国語での確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成する。

- ・各単元扉に、その単元での学習目標を示すとともに、教材ごとに学習する主な目標も示しました。また、読解教材の「発問」や「学習の手引き」において、学習が効果的に行えるようなポイントを示しました。
- ・単元内に言語活動教材を配置し、その活動と読解教材との関連を図ることで、「話す・聞く」「書く」「読む」の学習が、有機的・効果的に行えるようにしました。
- ・「言葉と生活」と題した単元(2か所)を設け、言語活動を中心とした学習によって、表現する力を高められるように工夫しました。

②論理的思考力や伝え合う力を育み、実社会に必要な国語の知識や技能を身につける。

- ・論理的思考力を身につける教材として、人間・社会・文化などの分野の評論をバランスよく採録、配置しました。
- ・話し合ったり、書いたものを読み合ったりする活動を豊富に配置し、更に相互評価する活動を取り入れることにより、伝え合う力を養えるようにしました。
- ・「社会と関わる」と題した単元では、働く人の思いに触れる3編の読解教材や、職業について調べてまとめる言語活動教材を通して、社会の中で生きること、働くことについて、考えを深められるようにしました。

③教材本文とコラム・附録とを有機的に関連させ、多様な学習に対応できるようにする。

- ・「評論の読み方」や、「メディアとの付き合い方」「文章の要旨をまとめてみよう」「グラフや写真の読み取り方」「推論の仕方」といったコラムでは、さまざまな文章や情報の読み解き方を、教材本文なども例に挙げながら、分かりやすく示しました。
- ・読書に親しみ教養を高めるために、コラム「評論の読み方」の末尾に「ブックガイド 評論」を、「社会と関わる」と題した単元の末尾に「ブックガイド 働くとは?」を掲載し、ジャンルやテーマに関連する図書を掲げました。
- ・「相手に応じた言葉の選び方」というコラムを設け、敬語を含め、適切な言葉遣いについて意識づけるようにしました。
- ・附録には、「思考ツール・発想の方法」「原稿用紙の使い方」「パソコンを用いたレポートの書き方」「手紙・メールの書き方」「履歴書の書き方」「面接の受け方」といった資料を用意し、実社会で必要となる知識や技能も含めて、多様な学習に対応できるようにしました。
- ・附録として掲載した「この教科書で学ぶこと」では、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の各教材について、どんな事項を学習するのかを一覧で示し、学習の見通しや振り返りに生かせるようにしました。

2.対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
1 自己を見つめる	・自分の好きなことを追求することの大切さを説き、真理を求める態度や豊かな情操を涵養することに資する文章を用意しました。(第1号)	→12～17ページ
	・身近なニュースをもとにスピーチをする活動により、地域への関心を深める契機となる教材を用意しました。(第5号)	→18～22ページ
2 他者に出会う	・想像力は、他人を思いやるために欠かせない大切なものであり、未来を形作るためにも決して枯渇させてはならない、と警鐘を鳴らす評論を用意しました。(第3号)	→24～30ページ
	・水を鑑賞するという行為をもとに、日本と西洋との文化の違いを比較して述べる評論を用意しました。(第5号)	→33～38ページ
3 言葉と生活 1	・学校行事や道順などについて他者に分かりやすく説明する活動を通じて、伝え合う力を育む教材を用意しました。(第3号)	→50～55ページ
	・エスカレーターの利用方法に関する複数の文章を読み比べ、公共の問題について考えを深めていく教材を用意しました。(第3号)	→56～62ページ
4 視野を広げる	・都市部のアスファルトやコンクリートのスキマに育つ植物を取り上げ、都市と緑の在り方を問いかける評論を用意しました。(第4号)	→68～77ページ
	・灰色の美しさに価値を見いだす日本の伝統的な色彩感覚について論じる評論を用意しました。(第5号)	→78～86ページ
5 社会と関わる	・調理師として一人前になる道を切り開いた体験談を通じて、働く人の仕事に対する思い、自分の将来の職業等について考えるきっかけとなる文章を用意しました。(第2号)	→94～99ページ
	・草木染めの仕事を選んだ体験談を通じて、仕事と生活の関わりについて考えるきっかけとなる文章を用意しました。(第2号)	→100～109ページ
6 言葉と生活 2	・フードロスの問題などを題材にして話し合い、視野を広げながら社会的な課題の解決策を検討する教材を用意しました。(第3号)	→124～129ページ
	・ゲーム依存についての新聞記事を読み、意見文を書くことで、心身の健康への意識を高める契機となる教材を用意しました。(第1号)	→130～135ページ
7 世界とつながる	・「美しさ」というのは、花や山といった対象にあるのではなく、それを「美しい」と感じる人間の心のほうにあるのではないかと論じる評論を用意しました。(第1号)	→142～149ページ
	・疎開先の広島で原爆によって亡くなった幼なじみの少年との思い出やその後のいきさつをたどりながら、平和を願い続ける筆者の思いを述べた文章を用意しました。(第4号)	→150～158ページ
8 未来に目を向ける	・生きていくうえで、真の意味での自立を身につけていくことが重要であると論じる評論を用意しました。(第2号)	→179～187ページ
	・パラスポーツなどを題材にポスターセッションをする活動により、幅広い知識や教養を身につける契機となる教材を用意しました。(第1号)	→188～192ページ

3.上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

- 中学校までの学習内容とのつながりを図りやすくするため、教材の採録箇所を工夫しました。(学校教育法第51条1号)
- 将来の進路の選択や、一般的な教養を高めることに資するよう、教材の中で多様なテーマを取り上げるとともに、ブックガイドを掲載して読書へといざなうように配慮しました。(学校教育法第51条2号)
- 社会人として必要とされる国語の能力の基礎を身につけることができるように、コラムにおいて、適切な言葉遣いについて考えさせる内容を示しました。また、言語活動教材において、スピーチ、話し合い、調査・発表、意見文、紹介文、文章の読み比べなどを取り上げました。(学校教育法第51条3号)